

(様式第9号)

# 情報公開用文書

「外国人結核及び入国者・帰国者結核 全国調査（第4回目）」関係する患者様へ

1, 研究（調査）の目的と概略

「外国人結核及び入国者・帰国者結核」診療に関する実態を把握し、本邦における輸入感染症（結核）の対策・制御を構築する。

2, 研究（調査）の方法

「外国人結核及び入国者・帰国者結核」の診断の元、入院および外来の診療を施行された患者様に関して、国籍、出身国、年齢、性別、臨床経過、治療に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。当院で匿名化された後、日本医療研究開発機構(AMED)新興・再興感染症に対する革新的医薬品等開発推進研究事業の研究開発分担者へ情報提供されます。

3, 研究（調査）の参加施設

全国の保健所または結核診療施設（前回は729施設）

4, 調査期間

調査期間 2020年1月1日から2022年12月31日までに診断された患者様。

5, 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記調査期間の間に、「外国人結核及び入国者・帰国者結核、潜在性結核」の診断の元、入院、外来にて精査加療を施行された患者様。

6, この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「後向き観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を守ります。データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。何も診療に不利益は生じません。

7, お問い合わせ先

事務局 研究代表者

国立病院機構近畿中央呼吸器センター 岡田全司

当院研究責任者

呼吸器内科 柿内聡司

徳島県立中央病院 呼吸器内科 代表 TEL: 088-631-7151

（尚、この調査は病院外の専門家の方を含んだ倫理審査委員会における審査・承認を受けて実施しています）